

2023年12月28日

各 位

ENEOSオーシャン株式会社

新造LPG燃料推進LPG/アンモニア運搬船 「ENEOS MIRAI」の竣工について

ENEOSオーシャン株式会社（代表取締役社長：廣瀬 隆史、以下「当社」）は、川崎重工業株式会社（代表取締役社長：橋本 康彦、以下「川崎重工」）にLPGを燃料とするLPG/アンモニア運搬船「ENEOS MIRAI」（以下、「本船」）を発注しており、本船は12月28日に竣工し、同日、当社へ引き渡されました。また、ENEOSグローブ株式会社（代表取締役社長：江澤 和彦）への定期貸船が開始されました。

本船の竣工に先立ち、12月8日に川崎重工坂出工場にて命名式を執り行いました。本船がLPG業界の未来をつくる1隻となるよう「ENEOS MIRAI」と命名されました。



本船は、低炭素なエネルギーとしてすでに活用されているLPGと、脱炭素社会の新たな燃料として将来的に活用が期待されるアンモニアも貨物として運搬することができます。また、従来船型同様に世界の主要LPGターミナルに入港可能です。

燃料には、LPGと低硫黄燃料油を使用できます。LPGを燃料とする場合、燃料油使用時に比べ、排気ガス中の硫黄酸化物(SOx)や二酸化炭素などの排出量を大幅に削減でき、SOx排出規制^{*1}およびEEDI^{*2}フェーズ3に適應しています。

当社は今後とも、LPG燃料船をはじめとした省エネ性能に優れた新船型の導入をすすめ、かつ次世代エネルギー・水素の輸送手段として注目されているアンモニアなどの輸送能力強化により、温室効果ガスの削減に向けた取り組みを推進していきます。



<主要目>

全長	229.90m
幅	37.20m
深さ	21.90m
夏期満載喫水	11.65m
カーゴタンク容量	86,911 m ³

※1 SO_x 排出規制:

2015年1月から欧米の排出規制海域（ECA）において、燃料中硫黄分0.1%以下のSO_x排出量規制が実施。また、2020年1月からは、その他の世界の全海域を航行する船舶に対し、燃料中の硫黄分が0.5%以下の燃料を使用するか、排ガス中からのSO_xを同等に低減する代替装置を使用することが義務付けられる。

※2 EEDI（Energy Efficiency Design Index）規制:

1トンの貨物を1マイル運ぶ際に排出されるCO₂のグラム数として定義されるエネルギー効率設計指標（EEDI）を用いて新造船の省エネ性能の規制値への適合を強制する国際規制。EEDI規制値は建造契約日と引渡日に応じて段階的に強化される。大型LPG運搬船やLNG（液化天然ガス）運搬船など一部の船種では、2022年以降の建造契約船からフェーズ3（基準値（フェーズ0）から30%のCO₂削減）が要求される。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

ENEOS オーシャン株式会社

総務部 総務グループ TEL：045-307-3112 [担当：佐竹]